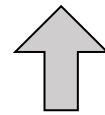
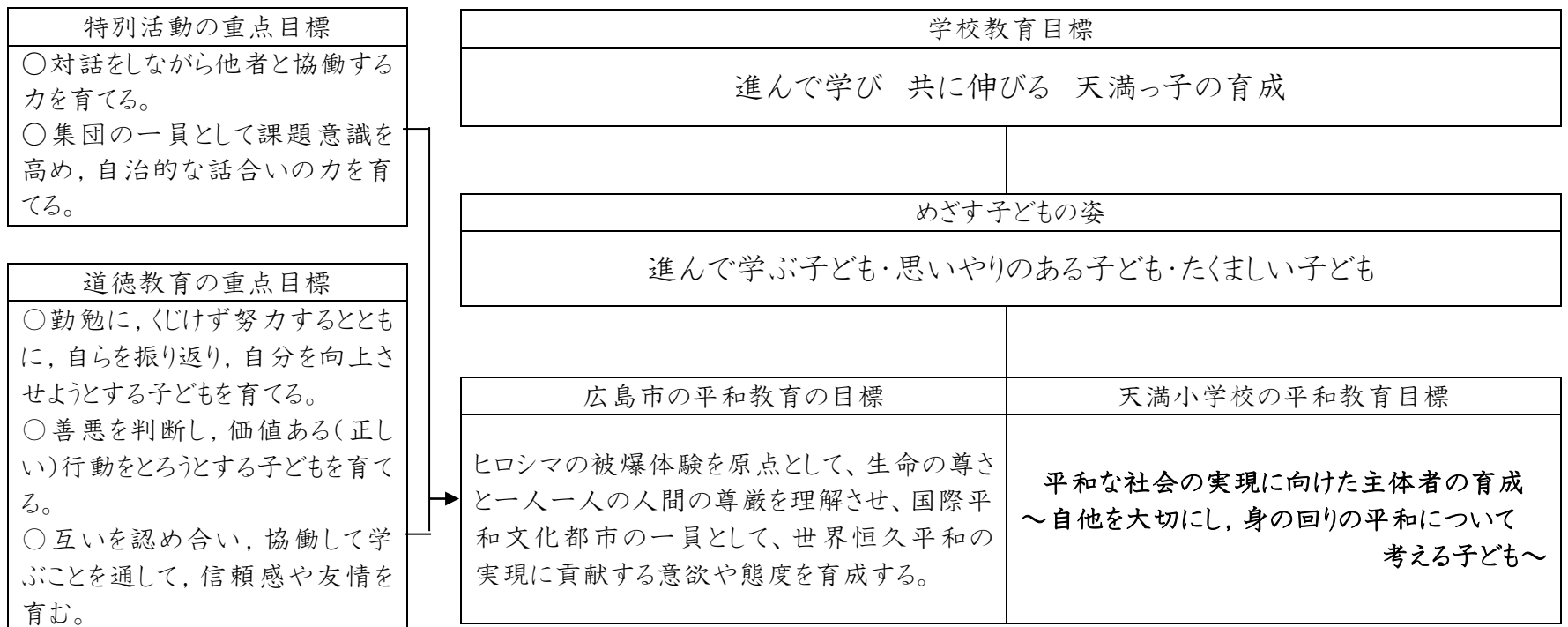


令和5年度 平和教育全体計画



平和教育プログラム	
プログラム1 : 1～3年	被爆の実相に触れ、生命の尊さや人間愛に気付く
プログラム2 : 4～6年	被爆の実相や復興の過程を理解する

ひろしま平和ノートの活用		学年重点目標	具体的な活動例	日々の取組
1年	みんなのたからもの	低	・平和に関する絵本の読み聞かせ ・プラタナスの木の学習	・対話のある授業づくり ・他者の考えや気持ちを考えて表現する。
2年	みんな生きている		・被爆アオギリの話 2世の植樹 ・平和公園のアオギリ見学	
3年	せんそうがあったころの広島	中	・天満地区の戦後の子どもの生活について地域の方に話を聞く。 ・町探検 平和ウォークラリー	・グループワークの工夫 ・振り返りの工夫
4年	広島をのびくと伝えたいこと		・校内にある碑、地域にある碑の見学。ボランティアの方と一緒に平和公園の碑巡り。	
5年	広島市の復興と人々の願い	高	・「社会を明るくする運動」への取組 ・平和記念資料館見学 ・JAGDAとの絵本作り	
6年	これからの広島		・ピースサミット作文 ・平和公園での外国人観光客との交流	

学校全体での取組
<ol style="list-style-type: none"> 1 「おりづる集会」 平和や戦争について学んだり、異学年で一緒におりづるを折ったりする。 2 「プラタナス平和集会」 学習したことを学校全体に発信、共有する場。 3 8月6日 平和登校日 8月6日に登校し、平和について考え原爆犠牲者の冥福を祈る。 4 「たてわり遊び」「プラタナス集会子どもの日」 たてわり班での活動を通して、異年齢での関わりや高学年のリーダー養成を図る。児童が主体になってゲームなどを立案・計画・実行し、最後までやり遂げたという喜び・達成感を味わわせる。